JGAP　団体認証

米（玄米）

一般財団法人　魚沼農耕舎

農　場　情　報

基本情報

所在地：新潟県魚沼市須原20番地5
常勤役員：３名　　従業員：３名
パート・アルバイト：８名
栽培面積：97ha
設立年：平成７年

経営理念

私たちは、地域の皆様と共に、より多くの農地を次世代に引き継ぎ、農業と農村の振興に貢献します。

農場の特徴

・栽培圃場：標高100～500ｍ、約1300枚、平均面積８ａ
・水稲30.2ha、そば33ha、野菜、山菜、作業受託
・雪室施設の活用で高品質な商品を提供
・魚沼雪室そばなどの６次化商品で米販売拡大へのきっかけ作りや、雨天時などの労働力を有効活用。

ＧＡＰ認証

取得状況

取得年：平成25年2月
継続年数：10年　更新：５回

きっかけ

３社が合併したため、作業方法がバラバラで法人内のまとまりがなく、作業手順や職員をまとめる統一のルールが必要と考えていた。そのような頃に、ちょうどよいタイミングで地元のJAにGAP部会設立の話があり参加した。

継続理由

・ＪＧＡＰは日本中の農場の失敗事例を集め、対策を考えさせ、安全を確実にする方法であり、安全・安心をお客様に届けることができる。
・第三者が農場に入る機会が増加する。
・整理・整頓には終わりがない。
・ＧＡＰの目指す内容に取り組むことは、法人であれば必須。

問い合わせ先
TEL 025－797-2255　FAX　025-797-2562
https://www.uonuma-agri.or.jp/

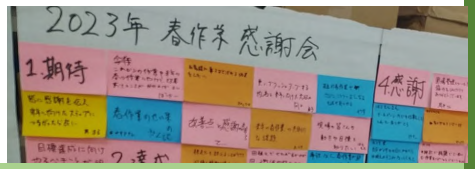
ＧＡＰの取組

労働安全

・朝礼で当番が「今日の作業の注意点」を発表しKY活動
・作業着やヘルメット、安全靴、空調服を支給
・初めての作業は、取扱説明書やYouTubeを事前に見て、現地でOJTを行う。
・業務を分類化し、正・副担当を決め、業務の遂行を理事がフォロー

人材育成

・資格の目標を立て、有資格者の下で練習。
・資格取得費用の補助と取得後、資格給の支給
・年数回コンサルの下で、組織の仕組みや進め方、社会人教育を行う。
・春作業感謝会でポストイットに１期待、２達成、３不可能→可能、４感謝を書き本人に伝え全員と共有。



労務管理

・年度末の面談で来年度の条件説明
・年度初めに辞令と労働条件通知書を渡す
・就業規則を常にPCと紙で閲覧可能

ＧＡＰの効果や改善（特に従業員の変化）

・小さいルールでもみんなの意見を聞いたうえで決めることで、しっかりと守る土壌ができた
・視察、ＧＡＰ外部監査で常に第三者の目を意識するようになり「法人としてきちんとしていこう」という気持ちが自然に醸成。
・業務を全員で分担、各自が責任を持つことで積極的となった。
・栽培記録がつけられなかったが、必ずみんなが記録するようになった。
・兼業農家の延長ではなく法人組織として安全安心な農業をするという意識を持つことができるようになった。